

CENTENARY

2009. 6. 25
第 29 号
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成



販売部門の復活により、今年は二年二組が「お菓子の歴史」をテーマにしてジュースやお菓子を販売しました。
一年ぶりに外展示も復活し、三年三組をはじめ5クラスが外の展示に参加して、迫力ある作品が校舎外も活気づけてくれました。内展示は昨年と同様、お客さんの参加型の展示が多く、来場

文化祭 展示・販売部門 式号

者と共に盛り上がって
いました。

全国大会出展の美術部・書道部の展覧も好評でした。お茶の体験が出来る茶道部など日頃の活動の成果を発表していただきました。



クラスステージ

三年生から四クラス、二年生は一クラス参加のクラスステージは劇、ダンスを中心にそれぞれ工夫を凝らし、笑いあり、感動ありで、観客と大いに盛り上がりました。

各部門優秀賞

各部門の優秀賞は次の通り。

ステージ部門の金賞は、クラスの文化祭への取り組みを題材とした劇を演じた三年六組（西春へのベクトル）。銀賞は三年四組（Z A T O I C H I）。

展示・販売部門の金賞は巨大モザイクアートに取り組んだ二年一組（純和風）。銀賞は二年四組（タイムマシーンで昭和の世界へレッツGO）。銅賞は二年三組（華ざかりの僕たち）。

一年生部門の金賞は爪楊枝5万本で取り組んだアート七組（ハロウインの世界へご招待）。銀賞は三組（七夕Milky Way）と四組（雛はダレだ）。惜しくも入賞できなかったクラスもそれぞれに工夫や個性が感じられました。



生徒会引退

文化祭を充実させるために新しい取り組みがなされました。それは、新旧の生徒会執行部で組んだところからです。従って生徒会の任期が三ヶ月延長され、文化祭で引退となりました。柳生生徒会長から「皆さんに感謝です」との挨拶があり、感動的なフィナーレとなりました。三年生の執行部の皆さん、本当にお疲れ様でした。新執行部は、先輩に負けず頑張ってください。

ちょっと一言 次号に続き、「啓発録」その2です。「**氣を振う**」と書かれていて、人に負けない心を持ち、自分で励まし、奮い立たせようということです。人間は誰でも他の人に負けまいとする心をもっている。また人に恥をかかせられると残念に思う心と、その中で生まれる意地とか意地っ張りをもっている。それが「氣」です。だから「氣を振う」は、人に負けまいとする心で、努めて自分を励まし奮い立たせることなのです。だが、この「氣を振う」心構えも、将来の志が立ってなければ、氷が溶けていくように消えてしまいます。氣力を振り起し、志をしっかりと。